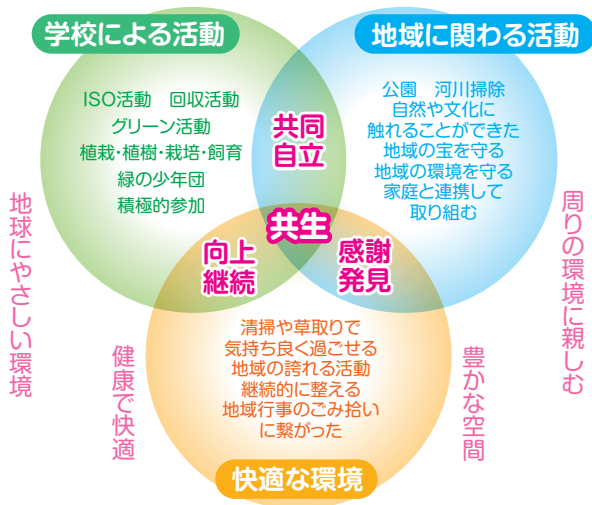


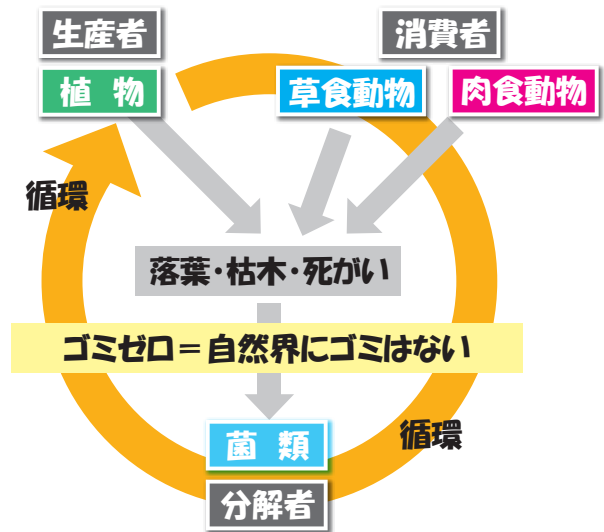
自然博物館の取り組み

1. 環境学習支援

さくらんぼ ISOの取り組み 図-1



再生と循環のサイクル 図-2



自然博物館では、未就学児から小中高生や、大学生の団体活動を受け入れており、その人数は、毎年の総利用者数の2～3割になります。近年は未就学児の利用が増えて、西川町、山形市、中山町、寒河江市などから複数の保育園と幼稚園の利用があります。また、小学校は、西村山郡を中心に毎年20校程、900人以上の利用があります。今年度の中学校利用に関しては、地元の西川中学校がシーズン中に4回の利用がありましたが、他は宮城県からの教育旅行の1校のみで、高等学校も宮城県の3校の利用でした。

利用者側の体験学習への理解の深化と、受入れ側としても相手方との学習目的を共有したほうが、お互いに良い関係が構築できることから、事前学習を実施しております。博物館職員が、学校に出向いて学習目的に合わせた内容の話をおこない、植物等を持ち込んで実際に触れてもらうことで理解を深め、来園への期待感が膨らむよう取り組んでおり、今年は宮城県の中学校で実施しました。

また、今年度は東根市教育委員会から、同教育委員会が取り組んでいる小中学生の「さくらんぼISO環境」実践交流会での講演依頼がありました。東根市内の小学校9校と中学校5校の取り組みを図-1にまとめてみました。生徒と学校がまとまり、家庭と地域が連携して行っている活動で、皆が豊かに暮らすための共生を目指して、10年以上継続しているという素晴らしい内容です。講演は「ブナの森が教えてくれた」と題して、多様性の宝庫であるブナの森に生息している動植物の生態を紹介しながら、生産者・消費者・分解者が三者三様に連携し、無理無駄のない営みがある自然界の共生の仕組みを説明し、人間も生態系の一種であること、豊かな生活を送るには自然を大切にすること、自然界にはエコ活動がないことなど、ブナの森で学んだことを講話させていただきました。(図-2参照)

山形県を代表するブナの森を通して、自然博物館では、事前学習や環境活動に沿った講演活動などを、これからも積極的に取り組んでいきます。身近な環境問題も、地球全体の問題も、ブナの森から学ぶことができると考えます。

ブナの森があなたを待っています。移ろう四季を肌で感じ、感動を伝えましょう！生き物の逞しさと、素晴らしさを自分の言葉で伝えましょう！



2. 自然博物館インタープリター養成講座の開催

自然博物館には現在50名のインタープリターが、自然と人を繋ぐ活動をしています。更に多くの仲間を募るため、平成29年度にインタープリター養成講習会を開催します。定員は15名、必修課程を受講することでブナの森で案内活動ができます。条件は、20代～60代で健康な方、自然と人が好きな方、博物館まで車で来られる方で、専門性は必要ありません。多様性豊かなブナの森で、多様な仲間と活動してみませんか？

詳細は、自然博物館HP又は自然博物館に直接お問い合わせください。